

～常任委員会の審議より～

総務文教厚生委員会

「平泉寺荘」について

平泉寺荘は現在、勝山市社会福祉協議会に運営を委託しています。

市では平成22年5月に庁内関係課による平泉寺荘在り方検討委員会を設置し検討した結果、平成25年3月末日で営業を終了することを市の方針として運営委託する社会福祉協議会へ申し入れています。

一方、平成22年12月定例会の本委員会では、当該施設の現状について説明を受け議論しています。今定例会において地元区から存続の請願書が提出されたことから、改めて説明を受けました。

当該施設の運営を存続していくためには施設の老朽化対策や耐震補強工事に約1億円が必要であり、利用客数の減少で経営も悪化していること、現在平泉寺荘で実施している介護予防事業も他の方法で代替が可能であることから、総合的に判断し市が関与した形での存続は難しいということでした。

委員会に付託された請願について、市は今後の施設のあり方について地元区と話し合いを進めていくということであり、委員会では閉会中の継続審査とすることになりました。

自主防災組織の助成について

地域支え合い体制づくり事業は、新しい総合計画で推進する「雪などの災害に強いコミュニティづくり」の中の重点項目「共助による除雪に対する支援」を実現するための一つの施策で、高齢者世帯など除雪の支援が必要な世帯に対し、地域ぐるみで除雪支援活動を行うための助成制度です。

自主防災組織を設立した区等に対して除雪機械を購入する費用が助成されます。

自主防災組織のこうした活動が地域の見守り活動に発展していくことが期待されています。また、こうした助成制度を活用するために新たに自主防災組織を結成する区等が増えることも期待されます。

現在、21地区から申請があり、状況を見ながら来年度以降の事業継続について検討していくこととします。

住民基本台帳ネットワーク整備事業について

住民基本台帳カード発行機の設置を図ります。今まで発行に数日を要していましたが、これによりカードの即日交付ができ、市民の利便性向上を図ることができます。

建設産業委員会

現地視察について

委員会では完成した市営住宅の栄町住宅と、勝山駅前工事の進捗状況を視察しました。

勝山駅舎改修案について

現在、駅前ロータリーの工事が進められています。今後は駅舎の改修が予定されています。委員会では駅舎の基本設計案の説明を受け、今後の運営の方法、利用者のニーズ等も勘案しながらその内容について種々議論しました。

土地開発基金条例の一部改正について

土地開発基金は、公共の利益のための土地をあらかじめ取得すること、事業を円滑に進めることを目的に設置されています。今期議会ではこの基金で所有している土地の財産価値を路線価により再評価し、額を改正したいというものでした。

委員会ではこの改正により、取得時の価格がわからなくなる恐れがあることや基金が保有している現金財産のあり方について議論がありました。

農業・農村振興ビジョン（仮称）について

このビジョンについてはこれまでの委員会でも策定状況の説明を受けてきました。今回は骨格の案が示されました。

これまでの委員会では農業部門の議論が多くありましたが、今回は林業の分野、内水面分野においても様々な意見がありました。

農業については付加価値化のために食味などの基準も考慮してはどうかということ。

林業については国の補助などをより利用しやすい方法が検討できないか委員会でも議論がありました。

内水面についてはアユはもとよりイワナ、アマゴなどについても考慮し、溪流の活用もできるのではないかなどの意見がありました。



栄町住宅の視察